

浜松湖北高3年生が販売

育てたミカン 若い女性にPR

浜松市北区の浜松湖北高はこのほど、農業科3年生が育てたミカンの販売会を同市東区のおそびこも園で実施した。将来の農家の担い手育成や地域農業の基盤振興などにつなげることを目的とした「JAバンク静岡アグリサポートプログラム」の一環。

東区 箱のイラストもデザイン

普段ミカンを買わない世代に向けた販売を充実させ、地域とのつながりを深めたいとの同校の希望を受け、毎年連携授業を行っている総合エネルギー会社エネジ（同市中区）が取引のある同園を紹介した。若い女性をターゲットに、箱のデザインも生徒たちで考えた。

当日は販売を担当する商業科の生徒を中心に、同園の職員や保護者へ商品をPRした。子どもの迎えに来た保護者らは興味深げに店先で足を止め、ミカンを買い求めた。農業科の宮本楓さん（18）は「自ら販売する経験は貴重。買ってもらえてうれしい」、商業科の平松大樹さん（17）は「これまでやってきた取り組みが発揮できている」と手応えを感じている様子だった。

（細江支局・吉沢光隆）

ミカンを販売する浜松湖北高生
＝浜松市東区

2021 年（令和 3 年）12 月 9 日（木）静岡新聞